

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 8
2023・7・18

1 連邦食料・農業省：2023「わが村は将来を」コンクール受賞村を決定
ー約 1 100 の応募から金・銀・銅賞に 22 村ー (2023・6・30)

連邦食料・農業省主催の第 27 回連邦コンクール「わが村は将来を」の受賞村を決定した。約 1 100 の応募村から選出された 22 の連邦受賞村について、さらに審査を行い 7 村が金賞に輝いた。

この 7 つの金賞受賞村は、将来性がありそして回復力のある村に発展させるために、村民が卓越した市民的社会参画でもって、模範となるアイデアと革新的な構想でもって審査員の評価を得た。



7 つの金賞受賞村の人々とオズデミール大臣 (右から 6 人目)

彼らはそれぞれ 15 000 ユーロ (約 225 万円 1 ユーロ 150 円で換算) の賞金を授与された。さらに銀賞の 9 村は 10 000 ユーロ (約 150 万円)、銅賞の 6 村は 5 000 ユーロ (約 75 万円) を授与された。さらに今年は特別賞として、「未来を目指した気候的に中立な冷暖房」でペンロス冷熱地域冷暖房、「村の歴史のデジタル文書化」でブルグレムニッツ村、「多世代センター古いポスト」のウエイハース、「村中心部農場の共同供給センターの ZEDT ショップ」でゼットヴィッツが、それぞれ賞金 3 000 ユーロ (約 45 万円) を授与された。

オズデミール大臣：“ 私は 22 受賞村の皆さんに対して、心からお祝い申し上げます。そして多くの参加者とボランティアが多くのことを印象深く示してくれました。我々の村と農村地域には将来があります！

現地の人々は自らのコミュニティにおいて、様々な挑戦をしています。そして魅力的な村の生活のイメージを実現しています。決定的なことで、そして全ての参加者に該当すること。それは仕事に心と魂を注ぎ、優れたアイデアをもっている人々が、将来に向けた農村づくりに重要な貢献をしていることです。全ての参加村はどれだけ多くの参加者でもって、実践的な計画を実現させたか、この度の表彰はこのことを示してくれました。”

2023年度受賞村（22村）

金 賞（7）

- ー Blismengen-Bolchen. ブリーズメンゲン-ボルヒエン
ザールプファルツ郡 ザールラント州
- ー Fredersdorf. フレーダース村 プツダム-ミッテルマルクト郡
ブランデンブルグ州
- ー Huglfung. フグルフング ヴァイルハイム ショーンガウ郡
バイエルン州
- ー Kirchboitzen. キルヒボイツエン ハイデ郡 ニーダーザクセン州
- ー Mabeck. マーベック ボリケン郡
ノルトライン-ヴェストファーレン州.
- ー Meinheim. マインハイム ヴァイセンブルグ-グンツエンハウゼン郡
バイエルン州
- ー Mensfelden. メンスフェルデン リンブルグ郡 ヘッセン州

銀 賞（9）

- ー Auen-Holthaus. アウエン-ホルトハウス、クロッペンブルグ郡
ニーダーザクセン州
- ー Benroth. ベンロス オーバーベルギッシュ郡
ノルトライン-ヴェストファーレン州
- ー Burglemnitz. ブルグレムニッツ ザーレーオルラ郡 チューリンゲン州
- ー Lautern. ラウテルン オスタブル郡 バーデン-ヴェルテンベルグ州
- ー Lütgeneder. リュトゲネダー ヘクスター郡 ノルトライン-ヴェスト
ファーレン州
- ー Medelby. メデルビー シュレースヴィック-フレンスブルグ郡
シュレースヴィック-ホルシュタイン州

- ー Neutrebbin. ニュートレビン メルキシュオーダーラント郡
- ー Rammenau. ランメナウ バウツェン郡 ザクセン州
- ー Zedwitz. ゼットヴィッツ ホーフ郡 バイエレン州

銅賞(6)

- ー Friedersdorf. フリーダースドルフ ゲルリッツ郡 ザクセン州
- ー Güsen. ギュセン ジェリコワア-ランド郡
ザクセン-アンハルト州
- ー milchenbach. ミルヘンバッハ オペル郡
ノルトライン-ヴェストファ-レン州
- ー Ummanz. ウムマンツ フォアーポームメルン-リュウゲン郡
- ー Weyhers. ウェイハーズ フルダ郡 ヘッセン州
- ー Wolfberg. ヴォルフスベルグ マンスフェルト-ズユートハルト郡
ザクセン-アンハルト州

コンクールについて

この連邦コンクールには、村のコミュニティから村議会代表者と住民約3000人以下の村と地区（特定の統一を現す村の一部）が参加できる。連邦政府は、村の魅力的な生活形成のための構想と革新的なプロジェクトを求めている。コンクールへの参加でもって村の住民は、現地でどのようなテーマで行動し、その結果として村における共同生活とその発展を示す。人口上の変動（移住も含めて）、経済的そして気候的な変化に対応した活動は、村の共同と団結がより強化されるべき貴重な財産である。

このコンクールの目的は村の全体的な発展である。村の概観は人々の生活感情に大きな影響をもっている。労働の場と社会的な施設が重要である。また、興味あるクラブライフも存在している（例えば、サッカークラブや音楽クラブなど）。そのため、住民にとって成果多い参加のために、ブレインストーミング（アイデアを出すための集団的な思考）にも参加する。自治体の責任のもとで具体的な活動でもって、成果を得るためにどのように貢献し、どのような課題（問題点）を克服したかが重要である。

その際、個別の出発点から積極的な発展を達成するために、現地における課題とそれを解決した教訓を活用すべきである。村の共同体は、このコンクールにおいて各テーマ分野における活動を紹介している。例えば、村の課題について人々をどのように動機づけし、共同での解決に成功したか、生活しやすい環境をどのようにしてつくったかと、いったような各テーマ分野の活動を紹介している。

連邦食料・農業省は、第 27 回コンクール「わが村は将来を」への参加を呼びかけてきた。2022 年に各州で決定された勝者が、2023 年の連邦決定に参加した。審査委員は決勝ラウンドに参加した各村を現地訪問し、金一銀一銅メダル並びに特別賞の村を選出した。受賞村は 2024 年国際緑の週間に、ベルリンにおける大規模な村の祭で表彰される。そして同年にベルビュー宮殿で大統領から表彰される。

背 景

既にこのコンクールは 27 回を経過し、住民のボランティア的な参加のもとに村の発展に貢献している。このコンクールは、コミュニティ活動と村の発展のための課題解決を紹介するために、該当住民を招待している。また、このコンクールは連邦プログラム「農村発展と地域の価値創造」(BULEplus) の構成部分でもある。このコンクールは農村地域の革新的なアプローチの試みと、地域奨励改善のための刺激を与える。

全ドイツから応募した約 1 100 の村々は、日頃から切望している表彰を手にするため、第 27 回連邦コンクール「わが村は将来を」に参加した。合計して 22 の村が決勝の場で評価を受けた。審査委員会は 3 週間かけて村々を訪問した。その際、特に発展構想と目的、経済的なイニシアチブそしてインフラ構造の改善、住民のボランティアな参加とその活動、村における施設等の建設、文化、自然そして環境への意識的な対応が評価された。

金賞受賞村の概要 (7村)



ブリース メンゲン

ブリース メンゲン

基本データ:住民数 2022 年現在 1 816 人

男女別、年齢層による住民数

	男性	女性
0~17 歳	184 人	143
18~65	550	542
65 歳以上	167	230

村の概要：歩行者用の橋が国民を結びつける。南ザールプラッツ郡にあるブリースメンゲン-ボルヒエンは、ブリースシュヴェンという町の隣にある。2 つの町は、小さな川の流れによってのみ別れている。1990 年以来、この小さな橋が国境となっている。ブリーストメンゲン-ボルヒエンは、変化に富んだクラブ活動に特徴がある。

村全体で 36 のクラブと村の博物館、野外劇場といったような施設がある。

住民は村の生活と村のデザインづくりのための、ワーキンググループ、景観保全と広報活動等に参加している。このプロジェクトと並んで、ドイツフランス友好の保持もまた、村一故郷の歴史的な仕事であり、生活の質的向上とその維持もまた、共同体の重要な目的である。

この意味においてこのブリエス川にわたるフェールコン橋の全体的な岸辺エリアを、新たに造成する。歩行者は今、国境に近い村と歓迎の看板と、ワッペンシールでもって迎えられている。



村の入口に歓迎の看板を設置



村の音楽クラブポロシャツで夕べの音楽会



フレーダスドルフ

フレーダスドルフ

基本データ：住民数 2022年現在 365人

男女別、年齢層による住民数

	男性	女性
0~17歳	34人	24
18~65	119	111
65以上	40	42

村の概要： この村はバルト氷河溪谷の中心にあり、ベルツイヒ景観保全牧草地（森林の無い低地の風景）の近くにある。1313年に初めて古文書に記述されている古い村である。現在、この小さな村には365人が住んでいる。さらにこの村の周辺地域は、保護価値のある鳥類「グレートバスタード」が棲息している。この鳥は最大16kgに成長し、世界の飛ぶ鳥類の中で最も大きな種である。ブランデンブルグ州のこの地でごく少数見られる絶滅危惧種である。

地域の種の多様性と環境保護のために、花咲く草地の保全と巣箱の設置を村の共同体で取組んでいる。このことは全く驚くことなく、村の活動に定着している。この村では毎年収穫感謝祭と秋祭に際して、村の連帯感が特に強く発揮される。多くの住民は村内の団体に参加している。村の委員会は定期的な会議において常に住民のアイデアと要望を取り入れ、村の生活価値と将来の安全性をつくり出すチャンスにしている。



かつてのバルト氷河の谷に棲息する
絶滅危惧種のグレートバスタード



この鳥の保護・観察は村の
重要な役割



フグルフング

フグルフング

基本データ：住民数 2022年現在 2 898 人		
	男女別	年齢層による住民数
	男性	女性
0~17 歳	289 人	293
18~65	849	912
65 歳以上	267	292

村の概要：フグルフング村は、約 2 900 人の住民数でフンガー溪谷の周辺に、幾つかの町と村が存在している。12 k mの範囲の中に、50 000 人の人々が生活している。

特にフグルフングは、常に新しい人を惹きつけている。この状況はフレッシュなアイデアでもって村を豊かにしている。将来のための村のコミュニティのレシピは、新しいことに関して素早い行動の組織構造の中に示されている。既に長く活動している団体は、具体的な目的に対して一定期間共同で活動する。

この期間、例えばメッセージアプリ「WhatsApp」利用する約 160 人のグループによって、主に年長の子供や青年に自己設計可能な遊び場の世話をする。このためのアイデアは、2021 年夏の祭プログラムに載せて、若者から高齢者までの村住民を集めている。



バイエルン地方の民族衣装で演奏する村の音楽隊



村の若者 160 人が WhatsApp でもって子供の遊び場づくりを



キルヒボイツェン

キルヒボイツェン

基本データ：住民数 2022 年現在 160 人

	男女別	年齢層による住民数
	男性	女性
0~17 歳	54 人	52
18~65	186	179
65 以上	63	74

村の概要：名前が既に知られているように、キルヒボイツェンにある教会は、村の共同体が代々発展させてきた村の中心にある。村の住民は確信している：我々は何かすこし動かしたいとき、まず第一に自分自身が動かねばならない。このような考え方に基づく参画から、若者と高齢者のために多様な余暇活動が可能になる。例えば、スポーツクラブ、射撃協会、自発的な消防隊への参加、教会における聖歌隊、音楽グループが活動している。最近では村共同体で 150 万ユーロ（約 2 億 2 500 万円）の投資と、多くの募金でもって村の重要なインフラが確保されている。村人は閉鎖されたホテルに村のレストランをオープン、そしてカフェの併設されたパン屋やガソリンスタンドの建設、そして地区貯蓄銀行支店まで設置した。



村人の日常生活を支えるインフラの整備
ガソリンスタンド（左）とパン屋（右）



村の児童合唱団が教会の聖歌隊としても活動



マーベック

基本データ：住民数 2022 現在 2 482 人

男女別、年齢層による住民数

	男性	女性
0~17 歳	225 人	243
18~65	804	745
65 歳以上	213	252

マーベック

村の概要：我々の感情—それはマーベック住民の心におかれている。ミュンスターの西にあるこの村は、ボルケンの町に属し、将来を共同で進めることに重点をおいている。

イニシアチブ「我々はマーベックに」は、10 年以上前から村の発展のために取り組んでいる。2020 年にイニシアチブの協力のもとに、村の発展構想（DIEK）を策定した。それは居住、経済、共同体、交通といった領域における計画である。これは既に全世代にわたるマーベック住民のための、スポーツ公園の建設、余暇の提供拡大をスタートさせている。

村共同の目的は、環境—自然保護のテーマ、つまり村の小川の再自然化の対策から「昆虫ホテル」「野生の花の牧草地」の設置である。



村のワークショップで沢山のアイデアを



種の多様性保持のための「昆虫ホテル」



マインハイム

マインハイム

基本データ：住民数 2022 年現在 576 人

男女別、年齢層による住民数

	男性	女性
0~17 歳	47 人	50
18~65	194	180
65 歳以上	52	53

村の概観：バイエルン州の西部、アルトミューレンフランケンを中心にあるマインハイムは、住民約 500 人の自治体である。特徴的にはフランケンアルプ（訳注・森林限界線以上から雪線までの自然草地）を望む眺望の良い地に村がある。

鮮やかな瓦屋根の教会塔もまた、村の風景を特徴づけている。村議会のイニシアチブと並んで、住民の共同活動の計画がしばしば先行している。ここでは村の共同体のボランティアが、価値ある活動を行っている。過去において既に多くの共同体プロジェクトが実践されてきた。例えば、村内住民同士のオープンガーデンが、相互の交流を深めている。これは互いのガーデンを公開し、草花への理解と知識を深め自然保護の意識向上にも役立っている。さらに近年は、地域暖・冷房ネットワークの施設整備が挙げられる。これは10年前にスタートし、それ以来継続的に強化されてきた。他のプロジェクトにおけるインフラも、持続的なビジョンを示している。さらに近隣6つの自治体との連携で、風力発電と太陽光発電の共同設置計画が進行中である。



エネルギーの自給・太陽光発電



住民のオープンガーデン



メンスフェルデン

メンスフェルデン

基本データ：住民数 2022年現在 1 289人

男女別、年齢層による住民数

	男性	女性
0~17歳	102人	106
18~65	393	387
65歳以上	161	140

村の概要：ラインラントプファルツ州の境界に、メンスフェルデンの村が位置している。

この村は自然保護地域・近隣保養地域の近くにあり、リムブルグ・ヴァイルブルグ郡に属している。この村は極めて活動的である。住民は多くのグループや団体に入り、数多くの文化、スポーツ活動を楽しんでいる。住民は村共同体の考えに基づき、村の発展に尽力し、高齢者の居住、身近での生活物資の供給、交通、気候保護に共同で取り組んでいる。特に活動の拠点を村の中心部においている。村は若い人の割合が高い。これに対応して村の中心地を若者や家族のために、活気ある場としている。このため、この村の新しい出会いの場（村の共同センターのような）を建設している。この建物には村の団体、政治、管理部門が、一本の綱のように統合されている。村の中心地には、納屋を改造したクライミング施設が整備されている。

さらに納屋を改造して村共同体の将来的な魅力を高める居住一活動の場を創っている。また、若者が多いことからかつての税関施設を結婚式場に改造し、村民一体となった祝い場としている。さらに子供達の遊び場を村民が共同で設置している。



村には若者が多いことから、旧税関建物を
結婚式会場に改造



若者たちの結婚を村全体で祝う



住民の手づくりで子供達の遊び場を設置

審査基準

住民活動の評価に際して中心点を村の将来におくだけでなく、村共同体の活動による実績をも重視する。村の活動はそれぞれの出口の状況に基づいて、影響力の及んだ個々の可能性を評価する。評価は以下の3分野を基礎とする。

- 1 村の発展構想と経済歴なイニシアチブ
- 2 住民の社会的な活動への参画と文化的な活動
- 3 村内の建造物の建築と集落内外の緑化と景観づくり

加えて全体的な印象と村共同体における住民の参画を評価する。

2 連邦コンクール「木造建築プラス 2022-23」 受賞者を表彰

—木造建築の推奨は炭素蓄積による気候保護に貢献— (2023・6・4)

連邦コンクール「木造建築プラス 2022-23」の受賞者が決定した。連邦食料・農業大臣オズデミールは、ドイツ木造建築フォーラムで5つのカテゴリーにおいて、表彰状授与を決定した。そして連邦政府は総額50,000ユーロ(約750万円)の賞金を授与した。



木造建築部門・住居と地球環境を意識

連邦食料・農業省はこのコンクールにおいて、木材と他の再生可能な建築材料で気候に優しく、かつ持続可能な建造物のための貢献として第6回の建築受賞者を讃えた。

オズデミール大臣：“それぞれ新しい木材建築は、何十年、何世紀にわたって炭素を蓄積し、そして気候危機との闘いに際して我々を支援している。そのため、我々は将来において多くの建物を、可能な限り持続可能な建築材料で建設する。連邦政府は木材イニシアチブでもって奨励する。そのため、この連邦コンクール「木造建築プラス 2022-23」プラスに受賞者は、卓越した事例を示してくれた。”

受賞者は計画、建築、改修、住居、労働において、再生可能な原料での建設を完璧に完成させた。我々は革新的な問題解決、つまり建築分野での温室効果ガスを最終的に減らすために、このような事例を必要としている。その際、少なくとも我々の森林から供給された木材での建設は、農村地域での価値創造を手にし、そしてさらにこれを強化する。建築主コンクールにおける新しい部門として、今回の自然原料のリサイクル構想と、都市の高密度化を取上げている。さらに初初めて大学生のシリアル建設が、「学生のアイデアコンクール」部門に提出された。全体で139のコンクール応募が、評価のために専門審査委員会に提出された。審査の結果、「木造建築プラス 2022-23」で10の受賞者が決定した。

主な部門—木造の新築

- 受賞者：プロジェクト・芸術空間 カッセル (ヘッセン州)
- 受賞者：プロジェクト・住居と地球環境を意識した建築 オスターホルツ KiTa (ブレーメン)
- 特別賞：イルム公園の公衆トイレ クラシック財団 ワイマール(チュー

リンゲン州)

ー 表 彰：プロジェクト IGS リンテルン (ニーダーザクセン州)

主な部門ー今ある建物の改修、用途変更、再生

ー 受賞者：プロジェクトヴィルヘルム ゲンツ学校 ノイルッピン
(ブランデンブルグ州)

特別部門ー都会的な高密度

ー 受賞者：プロジェクト住宅及び商業ビル Buggi52 フライブルグ
(バーデンヴェルテンブルグ州)

ー 表 彰：プロジェクト ドイツ山岳連盟連邦事務所 ミュンヘン

特別部門ー天然建材によるリサイクル構想

ー 受賞者：プロジェクト ハウス聖ユニバルド ベネディクト会修道院
プラנק シュテッテン (バイエルン州)

ー 表 彰：プロジェクト アウスバウハウス (ベルリン)

特別部門ー学生アイデアコンクール 気候に優しいシリアルハウジング

ー 受賞者：地域の木材構想 (ベルリン)

背 景：

気候に優しく持続可能な建築文化は、温室効果ガス汚染を減らすことに貢献する。連邦コンクール「木造建築プラス 2022-23」は、連邦食料・農業省が既に 2012 年以来自然素材の使用でもって、住宅建築を優先した建築主を讃えてきた。これは知的な暖房構想と再生可能エネルギーと組合わせている。



木造新築部門・芸術空間
(カッセル)



特別賞・公園の公衆
トイレ (ワイマール)



建物改修部門・小学校
(ノイルーピン)



特別部門・受賞-都会的な高密度
住宅ー営業所 ブウギイ社



表彰・ドイツ山岳連盟 学生アイデア コンクール・受賞
連邦事務所 (ミュンヘン) 気候に優しいハウジング



木材建築フォーラム 2023 年 5 月（ベルリン）

3 依然として食品中に糖分、脂肪分そして塩分が多すぎる一子供用も 一連邦大臣が科学的な食品モニタリングの結果を公表一（2023・6・4）

連邦食料・農業大臣オズデミールが、科学的な食品モニタリングの調査結果を公表した。”最終の既成食品において、砂糖、脂肪そして塩分が未だに多すぎ、子供用食品にもあてはまる。これは子供向け食品に関する特別報告の結果である。この結果はマックス ループナー研究所（MRI）の中立的な、科学研究を基礎にしたものである。”



モニタリングの結果を公表する
オズデミール大臣（左側）

連邦食料・農業省は 2022 年のモニタリングで、約 7 000 の食品を調査している。2022 年秋からの食品モニタリングが示しているように、特定の食品において糖分の減少を示しているにも拘わらず、甘い乳製品、朝食用シリアル（麦やトウモロコシを焼いた加工食品、ミューズリー、コーンフレーク等）、そして清涼飲料では糖分が増加、またスープ、シチュー、インスタント食品は脂肪、塩分含量が依然として高くなっている。

マックス ループナー研究所は、食品の科学的なモニタリングでもって、重要な食品グループにおける定期的な調査を行い、エネルギーと栄養含量の変化を証明した。同時に食品業界の栄養含量の減少努力についても調査している。

子供向けの甘い清涼飲料の糖分含量のより詳細な評価を行ったが、この 5 年間に於いて全く変化がなかった。

それどころか、特に砂糖を含んでいる子供用飲料はなお甘くなっている。2019年以來、上位 1/4 の砂糖含量が 7.8g/100ml から 8.4g/100ml に上昇している。これは標準的な 200ml の飲料用コップに入った角砂糖 6 個分に相当する。

子供向け朝食用シリアルは、ドイツにおいて 100g 当たり 17g の糖分を含んでいる。これは朝食用の全シリアルの平均よりも多い 14.7g/100g の糖分含量である。子供用フレークの平均糖分含量は、角砂糖 4 個以上多い 100g 以上に相当する。これはマックス ループナー研究所のデータが示している。一方、子供用の関連食品の半分近くが、現在の栄養モデル基準を明らかに満たしている。

これに関してオズデミール大臣が述べた：“甘すぎる清涼飲料も朝食用シリアルも同じである。子供のための食品中の糖分含量は、まだまだ高すぎる。飲料については部分的に増加している。子供向けの楽しくそして多彩なフレークにおいては、糖分が大人用食品よりもしばしば多い。そして残念ながら、糖分、脂肪分そして塩分を特別に多く含んでいる食品が、しばしば特別に美味しいことが多い。ドイツの子供達は、両親の収入、教育そして出自に関係なく、誰でも健康な食品を食べ、健康に成長するチャンスをもつべきである。そのため、より良く子供たちを守ること。そして良い栄養のために私は闘う。まさに子供時代の栄養摂取行動が、その後の人生を決定する。”

マックス ループナー研究所所長の教授パブロ スタインバークが補足した：

”食品モニタリングについては、始めから子供用に焦点をあてていた。これは非常に重要である。なぜならば、若い年代に既に不良な栄養によって、栄養に条件づけられた病気の基礎を築くからである。子供向けの食品の広範なデータ基盤を、特別な調査のために把握している。ここではエネルギー栄養素含有について得られた変化はまだ十分でない。平均的な糖分、脂肪分、塩分と子供のエネルギー摂取の大幅な削減に寄与しているか、どうかはまだ不明である。以下の場合、子供向けの食品はより多くエネルギー、糖分または脂肪分を含んでいる。”

- 一 子供用朝食シリアル：特定のフレークとカリカリビスケットについての高い中央値（順位が中央である値）の糖分含有（2022年）
- 一 子供用ワッフルビスケット：最も高い中央値の脂肪分の含量（2021年）
- 一 子供用ミューズリーバー（ヨーロッパで朝食に食べるシリアル的一种）：他の全てのミューズリーよりも最も高い中央値の糖分含量（2021年）
- 一 子供用パスタソース：パスタソースの中で最も高い糖分の中央値（2021年）
- 一 子供用の粉をまぶした調整済みの家禽食品：比較可能な大抵の食品として高い中央値のエネルギーと脂肪含量（2020年）

一 子供用サラミ：他の同製品よりも高い中央値のエネルギーと脂肪含量（スナックサラミを除く）（2020年）

一 子供用の通常の清涼飲料：比較可能な飲料よりも中央値の高い糖分含量（2022）

オズデミール大臣：“子供と成人のための既成食品は、健康でなければならない。これらを多く食べる人は、心血管疾患、2型糖尿病、肥満といったような重大な結果を高める。食品企業は自らのレシピ改善を手中にしている。

科学的に裏づけされた削減目標を、今、早急に達成させることが我々にとって重要である。”

個々の食品グループの中で削減目標をどれだけ高くするかは、マックスグループナー研究所の調整する参加型プロセスの基礎に基づき算出される。ここではまず第一に食品科学のエキスパートの科学的に基礎づけられた、健全な削減目標を引き出し、そして目的とする食品グループについての削減目標を設定する。そして最終的に実現可能な削減目標を策定する。”



糖分の多い子供用乳製品



糖分の多い朝食用シリアル



スーパーに並ぶシリアル製品



清涼飲料は糖分が多い。



スープは脂肪分と塩分が多い。



子供達の好きなサラミは脂肪含量が多い。



栄養過多で小児肥満



大人になって懸命な努力を。



ついに肥満症の診断を下される。



マックスプランク研究所



食品の栄養分析する研究員

4 2023 ドイツ森林デー：健康な森林。健康な人々！をモットーに開催 ー森林は国民の健康と保養の場そして気候保護に貢献ー（2023・6・5）

連邦食料・農業省のイニシアチブでドイツ森林の日を、9月15日から17日に開催する。今年のテーマは「健康」である。「健康な森。健康な人々！」のモットーのもとに、林業家、森林所有者並びに団体、組織さらに全国からの市民を、森林における関連イベントに招く。森林に心をおくあらゆる人々が森林を訪れ、そして森林関係者と対話できる。



2023年ドイツ森林デーのポスター

その際、中心には環境と社会のための森林エコシステムの重要性についての対話、そして情報の提供がおかれている。森林は多くの人々にとって、保養と健康の場になっている。なぜならば、これまでの研究によれば森林での滞在は、健康を奨励する効果があるとされている。一方、気候危機は森林に大きな影響をもたらし、干ばつによる枯死と森の病気を引き起こしている。森林が抵抗力を強化しそれを維持することは、社会全体の課題である。そして広範な森林生態系は、将来世代にも大きな利益をもたらす。

このため、ドイツ森林デー 2023 は、「健康」をテーマとしている。同時にこれは、国連の食料ー農業機関 (FAO) のテーマにも沿っている。そしてこれは、2つの観点に結び付いている。

- ー 人々の健康と福祉のために森林の貢献
- ー ドイツの森林の健康

連邦食料・農業省イニシアチブのドイツ森林デーは、森林を訪れそこで互いに対話することに適した場を提供する。さらにドイツ全体で独自のイベントを開催する機会でもある。ドイツの森林デー 2023 は、2016 年、2018 年、2020 年そして 2022 年に引き続く 5 回目の開催である。

ドイツ森林デー 2016～2022



森林デーのイベントを確認



森林デーのメイン会場



新しい林業機械の展示



シンポジウム「森の中のスポーツ」



家族で森を散策



森林の中のサイクリング



森林官が森の中を説明



森の中の幼稚園



森に棲息する動物の説明



バードウォッチング



森は遊びの天国



木工体験に目が輝く

2023・7・15 訳

青森中央学院大学

地域マネジメント研究所

中川 一徹